

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# 和歌山県は38位

## 都道府県対抗男子駅伝

第22回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が22日、広島市の平和記念公園を発着点とする7区間48キロのコースであり、和歌山県は2時間25分34秒で38位だった。中学生から社会人までの選手が懸命にたすきをつないだ。

(3面に関係記事)

紀南勢では、田辺工業高校1年の野村優作君が1区、み

なべ町出身で和歌山北高校3年の沖見史哉君が4区、明洋中学校3年の井潤翔太君が6区、みなべ町出身で愛知製鋼の中村悠二さんが7区を走った。

優勝は長野県で、記録は2時間19分9秒だった。和歌山県の記録は次の通り。かっこ内は区間記録と区間順位、かっこ外はチーム順位。

1区(7キロ)	田辺工業高校1年・野村優作(21分12秒、36位)
2区(3キロ)	湯川中学校3年・家吉新大(8分47秒、17位)
3区(8.5キロ)	青山学院大2年・橋詰大慧(25分14秒、29位)
4区(5キロ)	和歌山北高校3年・沖見史哉(15分18秒、42位)
5区(8.5キロ)	同3年・山根昂希(25分47秒、31位)
6区(3キロ)	明洋中学校3年・井潤翔太(9分、21位)
7区(13キロ)	愛知製鋼・中村悠二(40分16秒、44位)

38位

(3) 昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# 長野が3年ぶり7度目V 都道府県対抗男子駅伝



第22回全国都道府県対抗男子駅伝で3年ぶり7度目の優勝を果たした長野のアンカー・上野裕一郎(22日、広島市の平和記念公園で)

第22回全国都道府県対抗男子駅伝が22日、広島市平和記念公園前発着の7区間、48キロで行われ、長野が2時間19分9秒で3年ぶりの栄冠に輝き、最多の優勝回数を7に伸ばした。

長野は4位でたすきを受けた4区の本間(佐久長聖高)が区間1位の走りで首位に立ち、5区の名取(佐久長聖高)も区間賞の快走で続いた。6区で福岡にいったんトップを譲ったが、アンカーの上野(Den A)が逆転した。福岡が19秒差の2位。昨年優勝の愛知が3位に入り、4位に京都が続いた。